総合

近ツー 五輪事業推進部を新設

1日付 教育旅行部も設置

近畿日本ツーリストはこのほど、1月1日付と4月1日付で行う組織の改正を発表した。1月1日付で営業統括本部に「東京オリンピック・パラリンピック事業推進部」を新設する。東京五輪への取り組みを通じて、関連事業収益の最大化と企業認知度の向上、関連事業の円滑な実施を図る。同事業を2020年以降にもつながる取り組みとするため組織横断的に事業を推進する。

同日付で営業統括本部内に訪日旅行、国際旅行などの海外市場を対象とする「グローバルマーケティング事業部」を新設。DMC（デスティネーション・マネージメント・カンパニー）機能を強化するため、人材を集約化し、事業部として独立する。

同事業を推進、実行するライン機能として専門特化するため、イベント・コンベンション・コングレス営業本部所属のグローバルビジネス支店を同事業部の所属に変更する。

4月1日付では、営業統括本部に「教育旅行部」を新設する。戦略を明確化し取り扱いの維持拡大と特定顧客の開発営業、新規ビジネス開発を図るため、販売促進業務を統括する部門とする。

同日付で、地域誘客事業部を「地域誘客交流事業部」に変更する。地域誘客・交流、観光振興関連事業の販売拡大を推進するためにライン機能を備えた事業部として再編する。

その上で、地域マネージメント事業（日本版DMO）に関する提案、実施、受託、行政の関わるイベントなどの入場券、運営、宿泊、輸送業務に関する企画、営業支援を行う。行政機関、地域団体と連携することで、地域誘客事業、観光交流事業を推進し、事業領域を拡大するとともに、地域の活性化に寄与することで旅行事業の需要を掘り起こす。

決算期を変更 3月31日に

KNT―CTホールディングスは12月18日、2016年3月30日に開催予定の第78回定時株主総会で「定款の一部変更の件」が承認されたことを条件として、決算期（事業年度の末日）を12月31日から3月31日に変更すると発表した。

連結子会社の決算期を統一することにより、グループ一体運営をさらに推進するとともに、経営情報の適時、的確な開示を行い、経営の透明性を高める。

HIS 上野本店オープン

特産品販売、訪日客案内も

エイチ・アイ・エス（HIS）は12月17日、東京・上野の既存3店舗を集約し、地域の特産品を購入できる物販スペースと訪日外国人デスクを併設した新店舗「HIS上野本店」をJR上野、御徒町両駅近くにオープンした＝写真。

地域特産品の販売は、中小食品メーカーの商品を駅ナカや高速道路のサービスエリアの「一坪ショップ」で販売し、食品生産者を支援することで地方活性化を目指す会社「生産者のれん会」が協力。地域特産品のうち、ブランド化を目指す対象商品を同社が選定し、HIS上野本店で販売する。

また、店舗1階部分は、訪日外国人向けの「TOURIST INFORMATION CENTER」を設置し、最大18カ国語で日本文化や最新スポットを紹介する。

◎KNT―CTホールディングス人事（1月1日付）
経営戦略統括部部長（KINTETSU INTERNATIONAL EXPRESS〈EUROPE〉B.V.社長）栗山千三▽経営戦略統括部部長（日本旅行業協会広報室長）佐藤栄子

◎近畿日本ツーリスト人事（1月1日付）
関西営業本部長（近畿日本ツーリスト中国四国社長）執行役員三田周作▽東京オリンピック・パラリンピック事業推進部（名古屋駐在）部長兼中部営業本部部長（営業統括本部販売部〈名古屋駐在〉部長兼中部営業本部部長）石綿利一▽東京オリンピック・パラリンピック事業推進部部長（イベント・コンベンション・コングレス営業本部第5営業支店長）岩崎友嗣▽三喜トラベルサービス社長（首都圏営業本部管理部長）露木成仁▽首都圏営業本部販売部長兼首都圏営業本部管理部長（首都圏営業本部販売部長）西山和弘▽グローバルマーケティング事業部長（三喜トラベルサービス社長）大溝哲也

◎近畿日本ツーリスト個人旅行人事（1月1日付）
営業推進部部長（ITシステム部部長）浅妻勇

◎近畿日本ツーリスト中国四国人事（1月1日付）
社長（団体旅行事業部長）船場誠吾

観光立国の実現は地方（地域）から

中堅旅行業3社に聞く

2016年の営業展開

独自の営業活動で地歩を固める中堅旅行業。ここでは読売旅行、タビックスジャパン、小田急トラベル3社の2016年の取り組みを探った。

読売旅行

江﨑丈社長

個人販売を強化 インで提携視野

内旅行全体の販売は年度トータルで前年度超えを

世界一の発行部数を誇る読売新聞の読者を有力顧客とする読売旅行。読者サービスの一環で毎年実施している「読売ロマンの旅」は、2015年も送客目標を大幅に上回り好調。ただ、貸し切りバスの新運賃制度の影響でバスツアーの販売が苦戦し、海外旅行もテロの影響を受けた。今後は商品の多様化を進め、個人旅行やウエブ販売も強化する方針という。江﨑丈社長に話を聞いた。

2015年度で影響が大きかったのが貸し切りバスの新公示運賃。4月は平均で前年比2500円アップになるなど、バス商品の単価を上げざるを得なかった。そのため上半期（4～9月）は売れ行きが苦戦した。

ただ、列車や飛行機を使った長距離の商品が順調に伸び、バス旅行の落ち込みをカバーした。国内旅行全体の販売は年度トータルで前年度超えを確保できる見通しだ。

北陸新幹線の開業で、北陸方面の販売が大幅に伸びた。上半期の北陸方面のツアーは前年同期比5倍以上。新幹線効果はやはり大きかった。

読売新聞社、販売店と共同で実施している「読売ロマンの旅」。毎年デスティネーションを決めて、送客目標を立てて実施している。2015年（1～12月）は国内が関西、山陰・山陽と日帰りバスツアー。海外がドイツ。年間30万人の送客目標をクリアし、11月末現在で約39万人に達している。読売新聞の読者サービスの一環で、良質な旅をリーズナブルな価格で提供している。1999年から始め、今回で17年目を迎えたが、延べ450万人を送客している。

2016年度は主力のバスツアーに加え、国内長距離、海外、個人型ツアーなど、バランスを取った営業を考えていきたい。ウエブ販売も強化し、インバウンドなどで他社との提携も考えている。

今、地方の自治体や観光協会とタイアップした仕事が増えている。イベントを仕掛けてツアーのお客さまを送っているが、観光は地域おこしの有力な素材なので今後さらに全国展開していく。

協定旅館ホテル連盟、契約指定協会の皆さまには、全国の地区会を通じさまざまな企画を提案していただいている。旅館や施設の皆さまは地域とのつながりが強く、心強い存在だ。これからもさまざまな提案をいただけるとありがたい。

タビックスジャパン

岩澤健一社長

新店舗を出店 外客を地域に

地方を中心に全国53都市に店舗を持つタビックスジャパン。地域密着型の募集型企画旅行の販売で実績をあげている。同社の岩澤健一社長に2016年の方針を聞いた。

2015年の旅行需要を喚起したのは北陸新幹線の開業とシルバーウイークだ。新幹線関係では、首都圏から北陸に向けた商品は、メディア系の他社との競争が激しく、思うほど数字が上がらなかった。ただ逆に、新幹線を利用した北陸3県から東京への商品や、新潟地区から北陸への商品はかなり好調だった。当社は富山、石川、福井の北陸3県や、新潟、長岡の各地に拠点があり、それぞれ募集型企画旅行を販売している。これらの地域で、ある一定以上のボリュームで商品造成をしている旅行会社は限られており、うちならではの強みが発揮できたと思う。

当社の企業理念は、「地域の皆さまの豊かな暮らしづくりに貢献する」。各地の社員は基本的に地元の人間で、地元密着の営業をずっと続けている。募集型企画旅行も、地域に根ざした商品かどうかが、お客さまに受け入れられるポイントとなっている。

小田急トラベル

飯田惣三常務

主力の箱根は 最高額目指す

小田急ロマンスカーが乗り入れる箱根温泉のツアーは小田急トラベルにとっての主力商品だ。国内旅行全体の取扱額の約25％を占める。

その箱根ツアーは、大涌谷周辺で火山活動が活発化し、5月6日に噴火警戒レベルが上がった頃から、キャンセルが増加。噴火警戒レベルは6月30日にさらに上がり、旅行需要の多い夏期の販売にも影響した。

「実際の噴火警戒エリアはごく一部だったが、箱根山という表現で伝えられたため、箱根全体が危ないとお客さまがとらえた」と飯田惣三・常務取締役営業統括部長は振り返る。そこでJTBと組んだ箱根観光プロモーション活動などを展開し、首都圏の街頭でパンフレット配布、新聞、交通広告による正しい現地情報の発信に努めた。

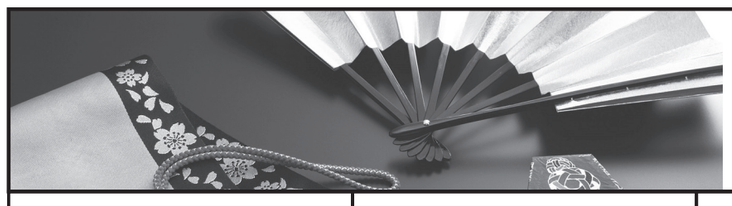
結果的に箱根温泉ツアーの5～11月販売は前年比45％にまで落ち込んだものの、旅館・ホテルなど箱根温泉の観光関係者との絆は、より一層深まったという。

16年度に創立40周年を迎える。箱根やバス旅をメーンに記念企画商品を発売する計画で、その商品は市場にあふれる価格訴求型とは差別化を図り、料理など内容を充実させた付加価値ある高価格帯で勝負する。旅館・ホテルなどの関係施設と綿密に打ち合わせをしながら、共に儲かる商品を作り上げたい考えだ。

販売チャネルの中心は小田急沿線駅前に置くカウンター店舗。旅館・ホテルなどに対して飯田常務は「施設の魅力をきっちりとお客さまに伝えられるのがリアル店舗の強みだ」とOTAにはないメリットを強調し、一層の協力を呼び掛けていく。

箱根旅行の需要回復も見込まれ、16年度の箱根商品の取扱額は過去最高に並ぶ数字を目指す。

パンフレット



謹賀新年

平成28年 賀正

心とけあう、くつろぎの宿
代表取締役社長 渡辺忠栄
政府登録国際観光旅館 ふくしま・母畑温泉・やはたや 八幡屋
〒963-7831 福島県石川郡石川町母畑温泉 TEL 0247(26)3131(代)・FAX 0247(26)1220

福島市／高湯温泉 旅館 玉子湯
代表取締役社長 後藤省一
〒960-2261 福島市町庭坂字高湯7番地 TEL 福島(024) 591-1171 FAX 福島(024) 591-4629
http://www.naf.co.jp/tamagoyu/

山形県あつみ温泉 たちばなや
代表取締役社長 佐藤佐次右衛門
〒九九九-七二〇四 山形県鶴岡市湯温海丁三 TEL 〇二三五（四三）二二一一 FAX 〇二三五（四三）三六八一

ホテル王将グループ
代表取締役社長 渋谷二三男
〒994-0025 山形県天童市鎌田本町1-1-14 TEL 023-653-3155 FAX 023-653-5760 IP 050-3161-0993
http://www.ohshokaido.co.jp

かみのやま温泉 天神の御湯 あづま屋
代表取締役 吾妻永朗
〒999-3141 山形県上山市新湯1-23 TEL 023-672-2222 FAX 023-672-2225
mail to hotel@azuma-ya.co.jp
HP URL http://www.azuma-ya.co.jp

山形県・銀山温泉 政府登録観光旅館 仙峡の宿 銀山荘 古勢起屋別館
代表取締役社長 小関吉左衛門
〒999-4333 山形県尾花沢市大字銀山新畑85 TEL.0237-28-2322(代) FAX.0237-28-2959
銀山荘 URL http://www.ginzanso.jp/
古勢起屋 URL http://www.kosekiya.jp/

南田温泉 ホテルアップルランド
女将 葛西恵子
〒036-0114 青森県平川市町居南田166-3 TEL 0172-44-3711 FAX 0172-44-3771
http://www.apple-land.co.jp/

月の丘のもっと素人になれる温泉 月田温泉
慶びに溢れ、贅を極めたおもてなし。
白玉の湯 泉慶 http://www.senkei.com
華やぎの空間 心踊らせるひととき 白玉の湯 華鳳 http://www.kahou.com
ゆらりゆらりと流れるとき 別邸 越の里
代表取締役社長 飯田浩三
〒959-2359●新潟県新発田市月岡温泉 白玉の湯泉慶 代表(0254)32-1111●http://www.senkei.com 白玉の湯華鳳 代表(0254)32-1515●http://www.kahou.com

越後岩室温泉 ゆもとや
代表取締役 高島勝郎
佐渡・弥彦・米山国定公園 ●政府登録国際観光旅館（登録1918）
〒953-0104 新潟県新潟市西蒲区岩室温泉91-1
☎(0256)82-2015(代)
FAX (0256)82-3668
URL : http://www.yumotoya.co.jp/
E-mail : info@yumotoya.co.jp

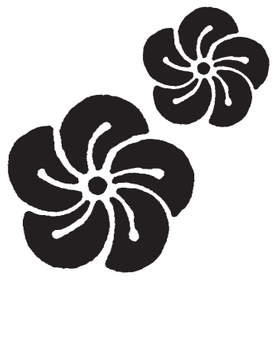
離れの湯けむり座敷「季里の湯」
政府登録国際観光旅館 株式会社 湯沢グランドホテル
代表取締役 村山桂子
〒949-6101 新潟県南魚沼郡湯沢町湯沢2494 電話(025)784-2351(大代表) URL http://yuzawagrandhotel.jp/

五頭連峰県立自然公園 村杉温泉
風雅の宿 長生館
政府登録国際観光旅館
代表取締役 荒木紀子
新潟県阿賀野市 村杉温泉 TEL (0250)(66)2111(代) FAX (0250)(66)2151 郵便番号 959-1928
http://www.chouseikan.co.jp

新潟県月岡温泉 ホテル清風苑
代表取締役 樋口恵一
新潟県新発田市月岡温泉278-2 TEL 0254-32-2000 FAX 0254-32-2945

気仙沼温泉 気仙沼プラザホテル 宮城県気仙沼市柏崎1-1 TEL0226-23-1313(代)
気仙沼温泉 サンマリン 気仙沼ホテル観洋 宮城県気仙沼市港町4-19 TEL0226-24-1200(代)
南三陸温泉 南三陸ホテル観洋 宮城県本吉郡南三陸町黒崎99-17 TEL0226-46-2442(代)
http://www.kanyo.co.jp
facebook http://www.facebook.com/hotel.kanyo

日本三景松島 花ごころの湯 新宮田亭
松ぼっくりの宿 翠松亭
代表取締役社長 加藤誠一
宮城県宮城郡松島町松島字垣の内38-3 TEL ○二二（三五四）五三七七(代) FAX ○二二（三五四）三四七五 インターネットナンバー (http://www.hotel-shintomi.co.jp)



国際観光ホテル整備法登録旅館 ゆのくに天祥
代表取締役 新滝英樹
〒922-0298 石川県加賀市山代温泉19-49-1 ☎(0761)77-1234(代) FAX(0761)77-1260

加賀 伝統文化アメニティ ゆのくにの森
代表取締役 新滝淳子
〒923-0393 石川県小松市粟津温泉ナ-3-3 TEL(0761)65-3456 FAX(0761)65-3344

白山白川郷ホワイトロード（旧）白山スーパー林道を「ホワイトリング」バスが走る!!
着地型観光の時代を走る! 金沢や高山の宿泊者に朗報です!
ホワイトリングバス 検索
株式会社ホワイトリング
白山温泉郷 一里野温泉 一里野高原ホテル ろあん
岩間温泉 山崎旅館
代表 山崎太一朗
〒920-2333 石川県白山市一里野 TEL076-256-7141 FAX076-256-7441
http://ichirino.jp

かよう亭
代表取締役 上口昌徳
〒九二〇-二四 石川県加賀市山中温泉東町二丁目ホの二〇 電話（〇七六一）七八-一四一〇番
E-mail kayotei@fork.ocn.ne.jp

秀峰閣 湖月 SHUHOUKAKU KOGETSU
代表取締役社長 小佐野国博
〒401-0304 山梨県南都留郡富士河口湖町河口2312 TEL.(0555)76-8888(代) FAX.(0555)76-8940
http://www.kogetu.com/

下部温泉 自然のままに 心のままに 下部ホテル
代表取締役社長 矢崎崇
〒409-2947 山梨県南巨摩郡身延町上之平1900 TEL 0556-36-0311(代) FAX 0556-36-1611

全館源泉掛け流しの宿 西山温泉 慶雲館
代表取締役社長 深澤雄二
〒409-2702 山梨県南巨摩郡早川町西山温泉 TEL.0556-48-2111(代) FAX.0556-48-2611